お兄ちゃん
寂しいの
久しぶりに田舎帰ったら
ちっちゃかった妹が
育ってて…
01
まひるの影郎

幼い頃
俺達兄妹は
両親を亡くし
親戚の家に
預けられた
そこは
田舎の島で
子供も少なく
男の子は数人
女の子は
いなかった
男の子同士は
すぐ仲良くなり
男同士で遊ぶ
昇ーッ
カニ捕りに
行こうぜ
うん
お兄ちゃん
私も…
女はダメだ
すぐ泣くし
トロイからな
女は入れて
貰えない…
海まで
競争だぁ
おーッ
お…おー
タッタッタッ…
……

思えば愛菜は
俺なんかより

ずっと独り
だったんだよな…

そんな日々から
何年か後に
叔父叔母が
仕事の都合で
家を留守にして

二人だけで夜を
迎えたことが
あったな

怖くない…

怖くない…

あの夜はその戸惑いで
一睡も出来なかったっけ…

その後もあまり
優しくして
やれなかったな…

結局数年後
俺は進学のため
島を出て寮生活

しばらく島とも
愛菜とも離れていたが

今回
学校の休みで

久しぶりに帰ってきた

そこは時が止まり
何も変わって
ないように見えた

おかえり
愛…菜!?
うん
…ちょっと見ないうちに大きくなったな…
そう…かな
うっ!?
ムクッ
急にあの夜の感覚が蘇った…
……
……
行こうか
…うん
元気だったか?
うん
そうか…
寂しくなかったか?
そう言い掛けてやめた…
愛菜の答えが怖かった
どんな答えでもきっと俺は辛くなる…
ほら急げっ
!
たたたっ…
待ってお兄ちゃん
この島にもまた子供が増えたのか…
うん
…あの子が愛菜と同い年くらいだったら
愛菜は寂しくなかったかもしれないな…
…って都合の良いことを考えてんな俺…
ゴロ
ゴロ…

ポッ
ポッ
ザーッ
うわっ
急に降って来た!!
あの納屋に
うん
愛菜
大丈…
はぁ
ゆぁ
……ッ!!
ゴゴゴ
あ…
う…
お兄ちゃん?
いや…
何でも
いッ!!
痛……ッ
貸して
愛菜!?
ぬッ!!
くちゅっ
くちゅ〜ッ
……
ドクン
ちゃぽん
愛菜…
ダメだ…いけないっ

逃げてくれ
お兄ちゃん？
俺…おかしくなってる
どうしたの？
お兄…
愛菜…
ダ…メ…
ん
んっ
愛菜っ

乳首…勃ってる
こっちは…
お…兄…ちゃん
はぁ
愛菜…もう我慢出来ないよ
どうしたら…
愛菜

愛菜 大丈夫か？
う…ん 大丈夫だよ
これが 愛菜の膣内…
すごく温かくて 気持ちいい…
動くよ 愛菜
く…あっ
ぬるぬる
気持ちいいっ
愛菜
愛菜

愛菜…!?
いいのか？
これは
道だぞ
もう 戻れない
お兄ちゃんが 望むなら…
愛菜

お兄ちゃんの…
奥まで来てるっ
愛菜
お兄ちゃんを…感じる

そうか…
俺は愛菜が好きだったんだ
でもいけない事だと思って無意識に避けていたんだ…
気持ちいいよお兄ちゃん
でも今は違う
愛菜
すごく
愛おしい
お…兄ちゃん…
激…しい…よっ
ごめんよ
止まらないんだ

膣内に射精したいっ
愛菜の膣内にっ
いいよっお兄ちゃん
愛菜ッ
膣内に…頂戴
もう…イキそうだっ

お兄ちゃーんッ
お兄ちゃんの熱いの…いっぱい
愛菜
…本当に良かったのか？愛菜…
もし俺に気を遣っているなら…

eternal
BLACK∞LABEL

お兄ちゃん
寂しいの
久しぶりに田舎帰ったら
ちっちゃかった妹が
育ってて…
02
まひるの影郎

子供の頃通った
高台にある
学校への通学路は
急な坂道で
大変だったな
ハァ
ハァ
…でも
俺より愛菜の方が
ずっときつかっただろう
小さくて
カバンは
重くて…
なのに俺は
何もして
やらなかった
何も…
ハァ
ハァ
ハァ
…でも
今は違う

昨日はおじさん達すごく心配してたね
そうだな
でも二人とも元気そうで良かった
うん
あっ見えてきた
懐かしいな全然変わってない……
うん
じゃあ教室に入ってみようか
え!?
昔よく忍び込んだ裏口があるんだ
あっ
3-1
…今誰もいないかな
たぶん…夏休みだから
……こう?
いいぞ
割れ目にしっかり喰い込んでて
すごくいやらしいよ
お兄ちゃん恥ずかしいよぉ
それがいいんだよ
その顔が堪らない
昔学んだ教室で
こんな格好してるなんて
すごい興奮する
次は脱いで広げて見せて
え!?そんな…
さぁ

あぁッ
ビクンッ
チロ
チロ
ハァ
ハァ
お兄ちゃん
愛菜
ボール
ボール
こっちー
!?
あれ?
何?
教室に誰かいたような…
男子トイレ
え!?
…まさかオバケ!?
……
お兄ちゃん
愛菜のイヤラしい所が丸見えだぞ
すごくかわいいよ
レロ〜
お兄ちゃん

再会して以来
俺達は毎日毎日
何度も何度も
交わった
今までの
心の隙間を
埋め合わせる
ように…
あ…
あ…

危なかったな
う…
うん
愛菜
大丈夫か？
…うん
そうか
でも俺の
まだこんなに
なってるんだよ
…ッ!!
愛菜のは
どうだ？
さっきより
濡れてるじゃ
ないか
……
準備は
OKだな
愛菜ッ

愛菜 最近明るくなったねぇ
え!?
やっぱり昇がおるからかのぉ
そう…かな
両親亡くして色々あって私らぁは心配しとったけど
二人だけの兄弟やし
助け合って二人それぞれ幸せになってくれることを願っとるんよぉ
早くいい旦那を見つけるんやぞ
お父さんったらまだ早いわよぉ
そうかぁ?
おじさんおばさん…
はぁ…愛菜…
お前の事を考えるだけで
すぐこうなっちゃうよ…

スッ
……愛菜
!?
お兄ちゃん!?
どうしたの!?
したいんだ
そんな…家は危ないからダメだよ…
我慢出来ないんだよ
愛菜いいだろ静かにやるから
ずっとこんなになってて
あっ
幸いんだ
頼むよお願いだ
……愛菜

あ…
ああ…愛菜のま○こ…
いつ見てもかわいい
あっ お兄ちゃん?
愛菜おいしいよ
お尻の穴もかわいい
愛菜
やっぱり愛菜の腔内は最高だ

あ…
ああ…愛菜のま○こ…
いつ見てもかわいい
あっ お兄ちゃん?
愛菜おいしいよ
お尻の穴もかわいい
愛菜
やっぱり愛菜の腔内は最高だ

ギク…
ギク…
んぐ!?
何?
地震かぁ?
キツくて
吸い付いてくる
ああ…
気持ちいいよ
愛菜は?
気持ちいいか?
うん
気持ちいいよ
お兄ちゃん
愛菜
もっともっと
感じてくれ
愛菜の感じてる
顔が見たいんだ
それが
とってもうれしいんだ

愛菜
好きだ
愛菜
愛菜ッ
愛菜
もう離さない
ずっと一緒だ
お兄ちゃん…

まだ…
まだ治まらないよ
愛菜は？
愛菜は
ずっと俺と
一緒にいて
くれるか？

eternal
BLACK∞LABEL

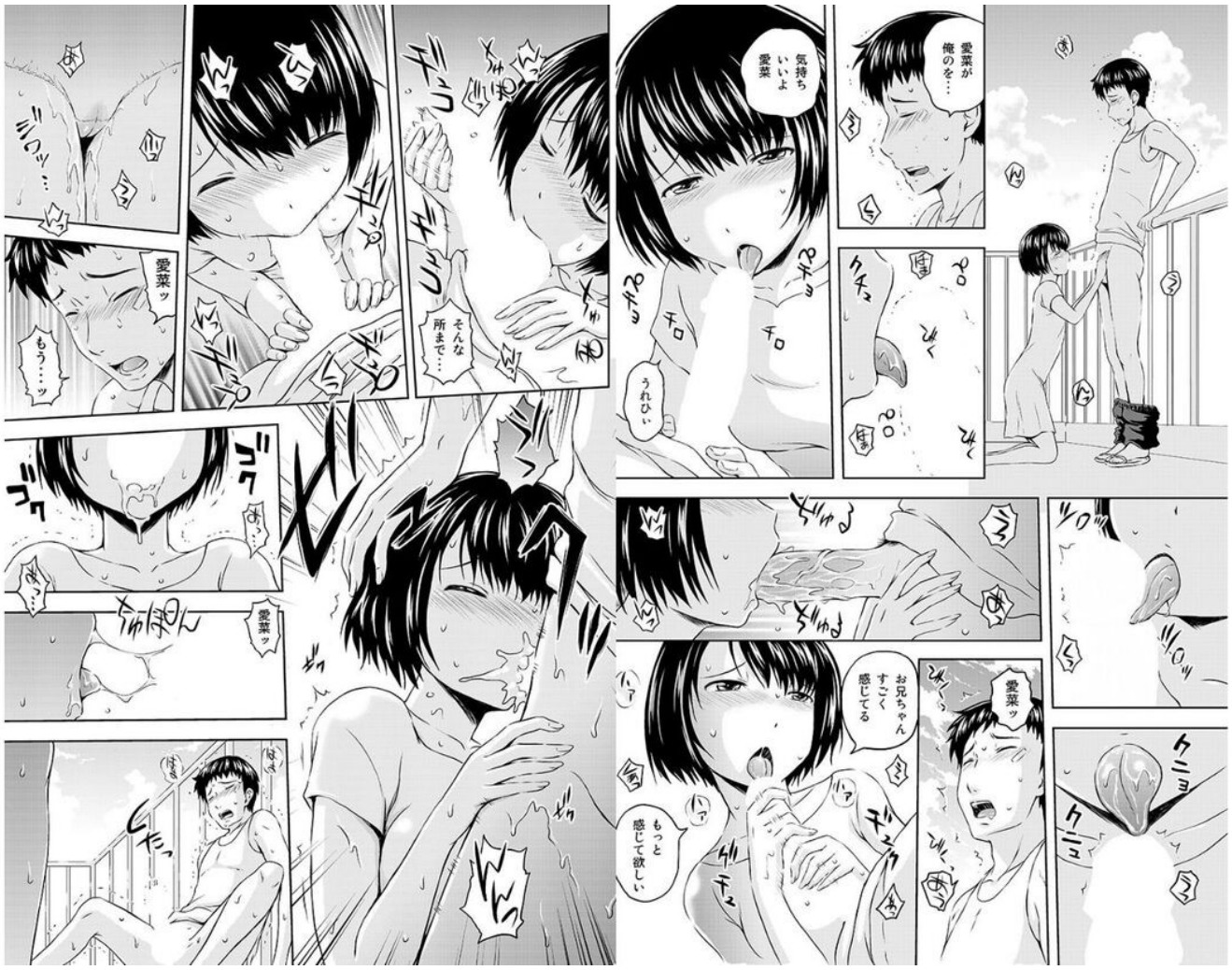
お兄ちゃん
寂しいの
久しぶりに田舎帰ったら
ちっちゃかった妹が
育ってて…
03
まひるの影郎

昇はすぐに寮に帰れ!!
もう二度と二人が会うことは許さん!!
何でこんなことに……

……これで良かったんだよお兄ちゃん
やっぱりいけないことだったんだよ
私のことはもう忘れて
お兄ちゃん…
愛菜…
……結局 俺は自分のことしか考えてなかった
自分を抑えられなかった
……身体に気い付けてね
……うん
じゃあ行くよ…
ずっと愛菜を苦しめただけだった…
本当に…ごめん
わしらの愛情が足らんかったんかのぉ…
愛菜…二度と会えない…
俺は海の向こうに
海の…向こう…!?
お兄ちゃん…
お兄ちゃん…
お兄ちゃん…
こ……
これは……
……!?
お兄ちゃん?

ブォーン
間もなく出航します
!!
お兄ちゃん!!
えっ!?
どうして!?
ま…
愛菜!?
スタッ
ギッ
ギッ
おじさん…
おばさん…
ごめんなさい
私……
タッ
タッ

私 お兄ちゃんと離れたくない
ずっと一緒にいたい
…愛菜だけど…
もう一人にしないでっ
愛菜…
愛菜
お兄ちゃん
もうこんなになってる…
…それは…
えっ!?
愛菜!?
こんな所で…
下手かもしれないけど
我慢してね
愛菜?
島が遠くなっていく…
…そうだな
…寂しいか?
お兄ちゃんがいるから平気


愛菜が俺のを…
気持ちいいよ愛菜
うれひい
そんな所まで…
愛菜ッ
もう…ッ
愛菜ッ
お兄ちゃんすごく感じてる
もっと感じて欲しい
愛菜ッ

お兄ちゃん
愛菜…
濡れてる
ゴクッ
す…ごい
お兄ちゃんが欲しくて私
もう我慢出来ないよ
ハァ
愛菜ッ
ぬぬ…
ぬっ
ぶるるっ
ぱん
私ずっとお兄ちゃんが好きだった
結ばれる日を夢見てた
だからお兄ちゃんと一つになれてすごく嬉しかったの
愛菜…
でも許されることじゃないのも分かってた
もうやめなきゃって思ってたけど…
こんな事に…
ごめんねお兄ちゃん
俺こそごめんな
こんなに愛菜を苦しませて

…俺思い出したんだ
この島に来た日にした愛菜との約束
私も思い出したの
愛菜も!?
だからもう置いて行かないでお兄ちゃん
愛菜ッもう離さないっ
ずっと一緒だ!!
ああっお兄ちゃんん
愛菜ッ
愛菜ッ
お兄ちゃんッ
お兄ちゃんいいよっ
気持ちいいっ
俺もだよ
お兄ちゃんの奥まで届いてるっ
私の気持ちいい所いっぱい刺激してるっ
腰が勝手に動いちゃうっ
止まらないよお兄ちゃんっ
愛菜のま○こが俺のち○こを包み込んで
すごく温かくてヌルヌルでトロけそうだっ
お兄ちゃん

ああ すごいっ
子宮に当たってるっ
お兄ちゃん
私もうイッちゃう
俺もイキそうだっ
一緒に……
一緒にイこう
愛菜
頂戴 お兄ちゃんの全部ッ
私の膣内に注いでッ!!
イくぞッ
イくぞ愛菜ッ
お兄ちゃ〜〜〜んッ!!
愛菜ぁあ〜ッ!!
お兄ちゃん?

……愛菜
ゴシ
ゴシ
この海の向こうには何があるのかな
海の向こう……
……いつか
いつか行ってみよう……一緒に
うん

お兄ちゃん
寂しいの
久しぶりに田舎帰ったら
ちっちゃかった妹が
育ってて…
04
まひるの影郎

あれから数ヶ月
俺は学校を辞め
日々労働に
追われている
愛菜も
出来る限りの
仕事をしている
後悔は
していない
二人の生活を
守るために
なんとか
借りられた
このアパートで
肩を寄せ合い
生きている
……ん

お…お疲れ様です お先に失礼します
ああ 今日は昼まで だったね
…はい
お兄ちゃん 疲れてる みたいだし
おいしい ご飯作んなきゃ
お疲れさん
お兄ちゃんが 帰って来る前に 掃除洗濯 夕飯の買い物 いっぱい
…なんだか私 奥さんみたい…
ガチャ
あれっ!?
お兄ちゃん お弁当 忘れてる…
届けて あげなきゃ

ん
う
ん
ちゅぱ
ちゅく
ごめんよ 愛菜 ちょっと 疲れてるのかな
気にしないで 大丈夫
……
くたっ…
お兄ちゃん…
お兄ちゃん 気持ち良く なって
ん
ん
!
シコ
シコ
……
お兄ちゃん
くふぅ…
くふぅ…

お兄ちゃんお腹空かしてるよね
ペコリ
待っててね
もうすぐだから
あ！
お兄ちゃん!!
お弁当忘れちゃったんでしょ？ほら私の少しあげる
……!!
あ…ありがとうございます
私もあげるよ
明日から作ってきてあげようか？
いえ…そんな…

何よそれ～愛の告白？
ちっ…違うわよっ
ただいま……
おかえり……
ごめん…弁当忘れちゃって…
…うん
夕飯で…食べるから
ごめんよ…愛菜
せっかく…愛菜が…作ってくれた…のに
私がお兄ちゃんの重荷になってる…
グー…
グー…

んっ!?
あれ…?
寝ちゃったのか…
愛菜?
…手紙!?
お兄ちゃんへ
ごめんなさい
私のわがままのせいで
お兄ちゃんを苦しめてしまいました
お兄ちゃんには私が
いないほうがいいと思います
私は島に帰ります
良い人と出会うことを
祈っています
本当に本当に
ごめんなさい
愛菜
愛菜
なんで…
俺は…
愛菜のためなら
何だって…
どうか
二人の関係を
許して下さい!!
……
入るぞ
愛菜!?
お…兄
…ちゃん!?
認められないのは
分かってます
…でも
……
ついて来い
?

愛菜に会えてうれしくて堪らないんだ
お兄ちゃん
お兄ちゃんのすごい勃ってる
愛菜のもすごい濡れてる
お兄ちゃんに会ってから
ずっとだよ
愛菜

帰ってきて以来ほとんど食べとらん…
愛菜…
衰弱するばかりで
このままじゃ…
悔しいが愛菜を救えるのは昇
お前だけだ
おじさん…
愛菜…
もう大丈夫だよ
今だけの熱病のようなものかもしれん
この先険しい未来が待っとるじゃろう
うまく行くかも知れんし行かないかも知れん
お兄ちゃんとこれが二人の人生じゃ
愛菜!?
んっ
二人に任せるしかない

ああ…久しぶりの愛菜の腹内
温かくて気持ちいい…
お兄ちゃんが挿ってると
すごく安心する
愛菜
私もお兄ちゃんを感じるよ
久しぶりだからすごく敏感になってて
お兄ちゃんの熱いのすごく伝わってくるよ
俺もだよ愛菜
愛菜もう…
…うん

あんっ
お兄ちゃんの奥まで来てる
子宮に…当たってるの
すごく感じるの
俺も先っぽ気持ちいいよっ
お兄ちゃん
すごい
マ○コ締まるっ
激しく…していいよお兄ちゃん
いいんだ
お兄ちゃん
幸せだ
今は繋がっているだけで

あっ…んっ
うっ
愛菜ぁぁ…
愛菜ッ
そんなに締めたら…
お兄ちゃん
気持ちいい…くっ
す…ごい勢いで
子宮に当たって…
お兄ちゃんの
お兄ちゃん
愛菜

ここに二人で来るのはあの時以来か…
変わってないね
でも俺たちはあの時とは違う
色々あったけど
ずっと強くなった
うん
もう逃げない
うん
愛菜と俺は
ずっと一緒だ
うん